

「はだしのゲン」が伝えてきたこと



原爆

戦争

平和

今、それを消そうとする日本の動き

2014年1月26日(日)午後1時30分(開場) 2時~5時

セッション杉並 視聴覚室 (杉並区梅里1-22-32)

<地下鉄丸ノ内線東高円寺下車徒歩5分>

お話し

アラン・グリーンズンさん

(「はだしのゲン」の翻訳者・杉並区在住)

「はだしのゲン」の翻訳者であるアランさんは、杉並区立井荻中で講演を依頼されていました。しかし、直前になり校長から連絡が入り、アランさんの講演会は中止となりました。その原因は、あいまいなまま明らかにされていません。

永田浩三さん

(武蔵大学教授・元NHKプロデューサー)

被曝2世である永田さんは、「はだしのゲン」撤去事件に強い危機感を持ち、松江にも足を運び取材をされています。その後、練馬にも「はだしのゲン」撤去の陳情が出され、仲間とともに声をあげ練馬教育委員会にその陳情を採択させませんでした。

13年8月に「はだしのゲン」が、「描写が過激」として松江市で閉架措置にされていたことが報道されました。「はだしのゲン」の撤去を執拗に要求したのは、在特会(排外主義)の活動家であったことも明らかになりました。

「はだしのゲン閉架措置反対」の声が全国から松江市に集中し、「閉架措置」は撤回されました。

下村文科大臣は、「はだしのゲン」を締め出した松江市教委の判断は、間違っていないと、発言をしています。

在特会、「新しい歴史教科書をつくる会」の「はだしのゲン」攻撃の動きは、全国に飛び火し、練馬区教委にも「はだしのゲン」排除の請願が出されました。練馬区にも多くの市民の声が寄せられ、排除を食い止めることができました。

松江・練馬と市民の声が、排除を食い止めたものの、いままさに、東京都教育委員会にあてて、撤去を求める請願が3件出されており、第2の教科書問題の様相を呈し、楽観できない状況です。みなさん!ぜひご参加ください。



参加費⇒700円

共催:「杉並の教育を考える」みんなの会

『はだしのゲン』の自由閲覧を求める練馬区民の会 ★連絡先⇒090-1859-6656(東本)